

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	2 明日につながる産業の振興
施策	1 都市型農業の推進

事業名	都市と農村交流事業
担当課	経済部農業振興課

目的と事業概要	<p>・地産地消の推進や市民と生産者の交流を目的として行う江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会(平成17年5月設立)の直売所スタンプラリーや野菜栽培講習会、農産物加工品フェアのほか、札幌圏の江別の農産物ファン獲得を目的として農業体験ツアー、グリーンツーリズムに関心を持つ生産者向け講習会、市内外へ江別市の農業をPRするためのMAP作成等を実施する。</p>
前年度までの実施内容と効果	<p>直売所部会:10カ所の直売所が参加し直売所スタンプラリーを実施。355名の応募があった。(H23年度252名)応募者からは継続を要望する声が多く、直売所としてもえべつアイ等の全戸配布等もあり、宣伝効果は高い。 加工部会:加工品フェア「農家のかあさん土曜日」開催。H23年度の来場者は全5回で2,954名。リピーターが着実に増えており、宣伝・PRの場として大きな役割を果たしている。 貸し農園部会:市民向けの野菜栽培講習会を午前・午後の2回実施。H24年度の参加者は計128名。貸し農園利用者の参加もあり、定員を超える応募がある。 札幌圏へのPR:農業体験バスツアーの実施。口コミ等で影響力のある女性をターゲットにすることで、他ツアーとの差別化を図っている。H24年度は定員30名に対し89名の応募があった。 農業PRのためのMAP作成:施設、直売所のほか、市内外のイベント等で配布している。 その他:市内外の催事に参加し、江別市の農畜産物をPRする活動を随時行っている。</p>
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 新規事業または新規の取組みについて 現状の取組みの継続について 上記内容を引き続き実施するとともに、新しく以下の取り組みを実施する。 新規 部会研修の充実:これまで食加研の職員などを講師として実施してきたが、試食販売やディスプレイなどのプロを招いて研修を行うことで、生産者のレベルアップを図る。 直売所料理教室:地場産野菜を使った簡単料理方法の紹介を通じて、農産物のPRと地産地消の推進を図る。6月～9月までの月1回実施予定。保険料は市負担、食材は直売所負担。 消費者との意見交換会:市民30名を広く広報・HP等により募集し、市内直売所見学、農家のおかあさんによる昼食提供・交流、意見交換会を実施する。生産者にとっては消費者のニーズを直接聞くことができ、消費者にとっては、生産者の顔が見え、安全・安心な地場産野菜について知ることができる。昼食・保険代は参加者負担。 首都圏催事視察:首都圏百貨店等で行われる催事の中で、適当な出展先を検討するための視察を行う。</p>

(単位:万円)

予算状況	H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
・直売所スタンプラリー開催経費	18.1	27.6	17.9	9.7		
・加工品フェア等関連経費	0.6					
・野菜栽培講習会開催経費	2.9	2.1	2.1			
・農業体験バスツアー開催経費	25.8	26.2	28.0	1.8		
・グリーンツーリズム講習会開催経費	7.1	6.4	2.7	3.7		
・農産物MAP作成経費	24.0	14.1	32.4	18.4		
・その他経費(商談会・催事支援・旅費等)	3.0	4.3	4.8	0.5		
・グリーンツーリズム先進地視察(廃止)	5.8	8.9		8.9		
・部会研修実施経費(新規)			2.0	2.0		
・直売所料理教室実施経費(新規)			5.6	5.6		
・消費者との意見交換会開催経費(新規)			7.0	7.0		
・首都圏催事視察経費(新規)			6.3	6.3		
計	87.4	89.4	108.6	19.2		
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他						
一般財源	87.4	89.4	108.6	19.2		
主な増減理由(前年比)						
新規						
部会研修実施経費の増						
直売所料理教室実施経費の増						
消費者との意見交換会開催経費の増						
首都圏催事視察経費の増						
廃止						
グリーンツーリズム先進地視察経費の減						

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	2 明日につながる産業の振興
施策	2 工業の振興と産学官連携の推進

事業名	誘致企業補助金
担当課	経済部企業立地推進室企業立地課

目的と事業概要	・ 江別市に立地する企業に対し補助金を交付することで、企業が市内に立地するよう誘導する。
前年度までの実施内容と効果	・ これまでに、21件(補助指定した件数)に対し、条例や要綱に基づき補助金を交付し、市内の企業立地が促進された。 江別市先端産業等誘致促進条例により固定資産税相当額(家屋、償却資産)を3年間補助する。 江別市産業支援サービス業雇用創出補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。 江別市コールセンター事業立地促進補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。
H25年度の実施内容	【意見募集にあたっての論点】 取組み手法の見直しについて ・ 引き続き、江別市先端産業等誘致促進条例により固定資産税相当額の補助を1社に対し行う。 ・ また、誘致企業に係る補助制度について、当市は道内他市町と比較して補助採択基準が厳しく、また、対象業種についても限られていることから、補助制度の見直しを検討する。

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
財源内訳	【積算内訳】 補助金	2,150.2	1,648.2	530.0	1,118.2		
	計	2,150.2	1,648.2	530.0	1,118.2		
	国・道支出金 市債 その他 一般財源	2,150.2	1,648.2	530.0	1,118.2		
主な増減理由(前年比)		補助対象企業数が4社から1社に減					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	2 明日につながる産業の振興
施策	3 商業の振興

事業名	食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業
担当課	経済部商工労働課

目的と事業概要	食を軸とした販路拡大による市内中小企業の経営基盤の安定・観光客誘客による経済活動の振興、さらにはバイヤーとの繋がりによる地場産品の掘り起こし・高付加価値化を図りながら経済活動の活性化及び雇用創出や税収増加などの効果を図る。
前年度までの実施内容と効果	<p>新商品開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 江別産品試食評価相談会～食製品等の開発を行った事業所を中心に、専門家によるアドバイスを実施。平成23年度はバイヤー・レストランオーナーシェフ・デザイナーを招聘。6事業者が参加し、商品の磨き上げを行った。 <p>商品販路拡大支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 社団法人北海道貿易物産振興会と連携事業 北海道産品取引商談会～全国から1,500名のバイヤーが集まる道内最大級の商談会。「江別市ブース」を展開し販路拡大支援～H23年度は7社、24年度は8社が出展。 北海道の観光と物産展～本州百貨店への北海道物産展出展による江別の観光PRと販路拡大支援 出展百貨店・そごう大宮店(埼玉県)、高島屋柏店(千葉県)、そごう神戸店(兵庫県)、山形屋(鹿児島県) マーケティングテスト販売事業 北海道どさんこプラザ札幌店、丸井今井きたキッチンにて江別フェアを開催し、江別産品のテスト販売及び観光PRを行った。
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>現状の取組みの継続について</p> <p>上記内容を引き続き実施し地場産品の販路拡大と派生的観光誘客増を志向する。</p> <p><新規></p> <ul style="list-style-type: none"> 「北海道スイーツ選手権」開催事業（北海道内都市経済活性化会議食部会主催）(市負担：102千円) 道内9都市(予定)と連携し、道民によるスイーツの人気投票を行い、各都市のスイーツPR、販売促進、観光誘客につなげる。 札幌駅地下歩行空間マーケティングテスト事業(旅費：10.5千円) 札幌駅地下歩行空間にて江別産品のテスト販売を実施し、地場産品PRや販路拡大につなげる。

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】	相談員謝礼	2.8	10.0	9.9	0.1		
	会議、販売出店等旅費	5.5	4.8	5.2	0.4		
	会場借り上げ	0.7	1.3	1.4	0.1		
	商談会等出展負担金	46.5	41.5	51.7	10.2		
	計	55.5	57.6	68.2	10.6		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	55.5	57.6	68.2	10.6		
主な増減理由(前年比)		「北海道スイーツ選手権」開催及び札幌駅地下歩行空間マーケティングテスト事業新規実施による増。					

平成25年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	2 明日につながる産業の振興
施策	4 就業環境の整備

事業名	雇用環境創出推進事業(就職希望者の就業支援事業)
担当課	経済部商工労働課

目的と事業概要	市内高等学校卒業予定の就職希望者を対象にビジネスマナー教室及び職業教育講演会を開催し、面接時の対応や自分の適性を把握して、社会人予備軍としてのスキルを身に付け、就業意識の向上を図る。また、大学生又は高校生と企業が交流する機会を設けて、マッチング支援を行う。
前年度までの実施内容と効果	<p>高等学校職業教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職希望者対象研修～進路講話・個別面接指導 ・就職未内定者対象研修～個別面接指導 ・就職内定者対象研修～ビジネスマナー指導 <p>地元企業との交流会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生と企業との交流会 (交流会開催までの事前研修は他の事業(新卒未就職者雇用促進事業)を活用して実施) ・高校生と企業との交流会
H25年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 現状の取組みの継続について</p> <p>今年度引き続き、高校の就職希望者に対する指導及び大学生・高校生と企業との交流会を実施するとともに、新規卒者と企業との相互理解を進める取組みを強化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校就職希望者対象研修 延べ 54回 延べ100回 ・高等学校就職内定者対象研修 延べ 20回 延べ 18回 ・高等学校就職未内定者対象研修 延べ 6回 延べ 6回 ・高等学校向け地元企業交流会 ・大学向け地元企業交流会 ・企業とのマッチングに向けた各種事前研修

(単位:万円)

予算状況		H23決算	H24予算	H25要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
就職希望者の就業支援業務委託料		199.5	180.0	281.7	101.7		
計		199.5	180.0	281.7	101.7		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	199.5	180.0	281.7	101.7		
主な増減理由(前年比)							
		<ul style="list-style-type: none"> ・高校生や大学生と地元企業との相互理解促進にかかる経費の増 ・高校生を対象としたビジネスマナー研修や面接指導にかかる経費の増 					